

第25部 生命の危機救え

1	救急救命士(上)	生死分ける医療行為	6
2	救急救命士(下)	搬送中の役割広がる	8
3	水の事故(上)	「泳いで救助」は禁物	10
4	水の事故(下)	肺に入れば死の危険	12
5	AED(上)	使い方は機械が指示	14
6	AED(下)	管理、周知を忘れずに	16
7	救命救急センター(上)	診察と治療 同時進行	18
8	救命救急センター(下)	「軽症患者」増が負担に	20
9	心肺蘇生(上)	強く速く絶え間なく	22
10	心肺蘇生(下)	119番で署員が指導	24
11	睡眠時無呼吸症候群(上)	心臓に大きな負担	26
12	睡眠時無呼吸症候群(下)	空気で気道広げる	28
13	災害医療(上)	重症度、緊急性を判別	30
14	災害医療(下)	「生命線」停止も想定	32
15	アナフィラキシー(上)	危険な「じんましん」	34
16	アナフィラキシー(下)	特効薬を自己注射	36
17	熱中症(上)	皮膚の乾きは危険	38
18	熱中症(下)	梅雨明け時が危険	40
19	冬山の事故(上)	悪天候なら入らない	42
20	冬山の事故(下)	安静にして温める	44
21	脳卒中(上)	血栓溶かす特効薬	46
22	脳卒中(中)	兆候知り、一刻も早く	48
23	脳卒中(下)	再出血防止が最重要	50
24	心筋梗塞(上)	動脈詰まり筋肉壊死	52
25	心筋梗塞(中)	生活習慣を改める	54
26	心筋梗塞(下)	「バイパス」で血流回復	56
27	高血圧(上)	自覚症状なき「殺人者」	58
28	高血圧(中)	塩分減らす工夫を	60
29	高血圧(下)	風呂場に潜む危険	62
30	不整脈(上)	「ポンプ」が機能せず	64

生命の危機救え

急患を前にした時、あらかじめ知識があれば、落ち着いて応急処置ができる。第25部「生命の危機救え」では、心肺蘇生そせいの仕方や脳卒中、熱中症の対処法をはじめ、最新の救急医療事情を紹介する。

31	不整脈（下）	命を守るペースメーカー	66
32	クラッシュ症候群（上）	倒壊物除去後に危険	68
33	クラッシュ症候群（下）	地域のきずなで防ぐ	70
34	血栓症（上）	止血作用に負の側面	72
35	血栓症（下）	薬を使い分けて対応	74
36	瘀血 <small>おけち</small> （上）	血管病を引き起こす	76
37	瘀血（下）	漢方に「強心」効果	78
38	外傷（上）	救命は時間との闘い	80
39	外傷（下）	骨折による出血危険	82
40	小児救急（上）	けいれんは焦らず対処	84
41	小児救急（中）	「ためたまま」は危険	86
42	小児救急（下）	侮れないRSウイルス	88
43	集中治療室（上）	重症者、最後のとりで	90
44	集中治療室（下）	血液浄化でばい菌除去	92
掲載施設・団体一覧			94